

中学校・高校教員対象夏季セミナーを開催

～リスク管理や保険教育に関する情報を提供～

一般社団法人日本損害保険協会(会長：船曳 真一郎)は、「生活設計とリスク管理」、「社会保障制度」、「民間保険」について知識と理解を深めていただくことを目的に、公益財団法人生命保険文化センターと共催で、中学校・高等学校の家庭科・社会科・公民科教員向けの夏季セミナーを開催しました。

本セミナーは、2006 年度から毎年開催しており、第 20 回となる今回は、7 月 28 日・8 月 18 日（会場：損保会館）、7 月 29 日（会場：梅田センタービル）の 3 日程で、全国から計 104 名の先生方に参加いただきました。

<当日のプログラム>

10:10～11:30	基調講演 『中学・高校で必要な保険教育とは?』—いま、中高生に知っておいてほしいこと— 講師：明治大学 商学部 浅井 義裕 教授
11:35～12:15	中学校・高校向け教材紹介（生命保険文化センター・日本損害保険協会）
13:00～14:20	授業実践報告 『家庭科および公民科における授業内容を踏まえた「リスク管理」に関する実践報告』 東京都立竹早高等学校 家庭科 三野 直子 先生 元 東京都立竹早高等学校 公民科 原田 明 先生
14:35～15:50	グループ別情報交換会 ※会場参加者とオンライン参加者に分かれて実施

浅井教授による基調講演では、『中学・高校で必要な保険教育とは?』と題して、保険の仕組みのほか、生命保険と損害保険の違いや民間保険商品ごとの特徴などをお話いただきました。

また、教材紹介では、生命保険文化センターおよび当協会が作成している教材について活用方法等を紹介しました。当協会は、高校生向け教材「明るい未来へ TRY! ～リスクと備え～(※)」の冊子・パワーポイント・動画を組み合わせた授業展開例などを案内しました。

※高校生等を対象とした短時間で損害保険を学習できる教材 (<https://www.sonpo.or.jp/education/high/>)

受講者からは、「授業実践について、とても参考になりました。」との評価をいただいたほか、「高校生向け教材についても豊富に紹介していただき、勉強になりました。」などの感想が寄せられました。

当協会では引き続き、教育関係者等に有益な情報を提供し、損害保険リテラシーの向上に努めます。



基調講演の様子



会場参加者によるグループ別情報交換会の様子